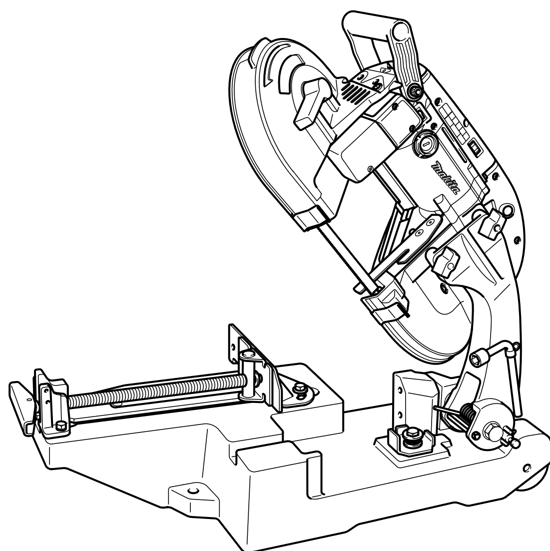
makita

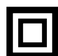
ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

取扱説明書

ポータブルバンドソー

回 モデル 2107FW
(無段変速)





二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要はありません。
マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは**ポータブルバンドソー**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



主要機能

主要機能 ＼ モデル	2107FW
電動機	直巻整流子電動機
電圧	単相交流 100 V
電流	7.5 A
周波数	50-60 Hz
消費電力	710 W
周速	0.8 m/s（50 m/ 分）～ 1.6 m/s（100 m/ 分）
最大切断能力	丸パイプ 115 mm、角パイプ 100 mm × 100 mm、丸棒 30 mm
	45° 切断時 丸パイプ 50 mm、角パイプ 50 mm × 50 mm、丸棒 30 mm
機体寸法	長さ 688 mm ×幅 328 mm ×高さ 353 ～ 665 mm
質量	26 kg

・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 ：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 ：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注 ：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

電動工具共通の安全上のご注意

JPA001-23

⚠警告

・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
・ 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。

a) 作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
・ 注意が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
・ 作業者以外、電動工具や電源コードに触れさせないでください。

b) 電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは電動工具の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。接地付きプラグは確実にアースをしてください。
・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアースされているものに身体を接触させないようにしてください。
・ 感電する恐れがあります。
3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
・ 電動工具内部に水が入り、感電する恐れがあります。
4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
・ 電源コードを持って電動工具を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
5. 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⚠警告

c) 作業者に関する安全事項

1. 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、電動工具とその操作を理解した方以外は使用させないでください。

・ 理解せずに使用することは危険です。

2. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。

・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、電動工具を使用しないでください。

・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

3. 安全保護具を使用してください。

・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。必要に応じて、防じんマスク、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓（イヤマフ）などを着用してください。

4. 不意な始動は避けてください。

・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

・ 電源コードをつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。

5. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。

・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。

6. 無理な姿勢で作業をしないでください。

・ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

7. きちんとした服装で作業してください。

・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。

・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。

・ 屋外での作業の場合には、すべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。

・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

8. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。

・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

d) 電動工具の使用と手入れ

1. 無理して使用せず作業に合った電動工具を使用してください。

・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。

・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。

2. スイッチに異常がないか点検してください。

・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

⚠警告

3. 電動工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

・ 本機の調整
・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
・ 保管、または修理
・ その他危険が予想される作業

4. 使用しない電動工具は、きちんと保管してください。

・ 子供の手の届かない安全な所、乾燥した場所で鍵のかかる所に保管してください。

5. 電動工具の保守点検をしてください。

・ 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。

・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。

7. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。

・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。

8. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

e) 整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。

・ 本機を分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
・ 本機が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
・ 本機は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

⚠警告

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。

・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。

・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。

・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
　＜異常・故障例＞
　・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
　・ 電源コードに深いキズや変形がある。
　・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
　・ 焦げくさい臭いがする。
　・ ビリビリと電気を感じる。

・ スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。

・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。(材料を動かして加工する製品を除く。)

4. ぬれた手で電源プラグに触れないでください。

・ 感電の恐れがあります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。

・ ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

充電式ポータブルバンドソー安全上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、充電式ポータブルバンドソーとして、さらに次の注意事項を守ってください。

JPB180-2

⚠警告

1. **使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。**
・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. **作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。**
・ 埋設物があるとソーブレードが触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
3. **使用中は、本機を確実に保持してください。**
・ 確実に保持していないと、けがの原因になります。
4. **使用中、本機の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。**
・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
5. **誤って落としたり、ぶつけたときは、ソーブレードや本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**
・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠注意

1. ソーブレードや付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
・　確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. ソーブレードおよび取り付け面の切粉などを拭き取ってください。
・　ソーブレードが、はずれたり、折れたりして、けがの原因になります。
3. 使用中は、ソーブレードや切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
・　けがの原因になります。
4. 作業直後の、ソーブレード、材料、切粉は大変熱くなっていますので、触れないでください。
・　やけどの原因になります。
5. ソーブレードで、コードを切断しないように注意してください。
・　感電の原因になります。
6. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。
・　材料や本機などを落としたときなど、事故の原因になります。
7. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
・　けがの原因になります。

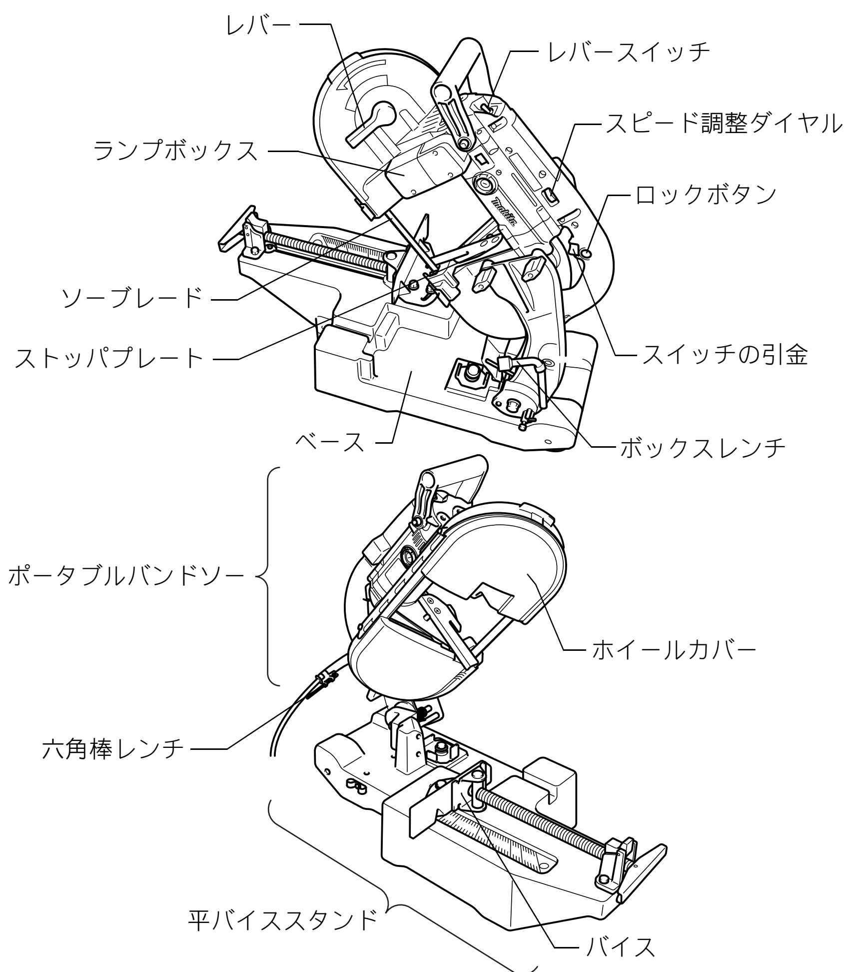
注

・電源が離れていて、延長コードが必要なときは、充電器を最高の能率で支障なくご使用していただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できる延長コードの太さ（公称断面積）と長さの目安

コードの太さ（導体公称断面積）	コードの長さの目安
2.0 mm^2	30 m

各部の名称および標準付属品



標準付属品

- ソーブレード (SK.18 山 / インチ)
- 六角棒レンチ 4
- カッティングワックス
部品番号 191897-9
- 三角定規
- ボックスレンチ 13
- レンチホルダ 3.4
- コンタテーブル

別販売品のご紹介

・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店、もしくは当社営業所へお問い合わせください。

種類	ブレード (山 / インチ)	部品番号	適応切断材料 (厚さ mm)									
			ガス管、ライニング鋼管、丸鋼、形鋼、電線管			アルミ、真ちゅう、塩ビ管			電線ケーブル	ステンレス、硬鋼		
			5 以上	4 ～ 5	4 以下	5 以上	4 ～ 5	4 以下		5 以上	4 ～ 5	4 以下
SK (3 本入)	14	A-26222	●	—	—	●	—	—	●	—	—	—
	18	A-26238	—	●	—	—	●	—	●	—	—	—
	24	A-26244	—	—	●	—	—	●	●	—	—	—
BIM (1 本入)	14	A-26250	●	—	—	●	—	—	●	●	—	—
	18	A-26266	—	●	—	—	●	—	●	—	●	—
	24	A-26272	—	—	●	—	—	●	●	—	—	●

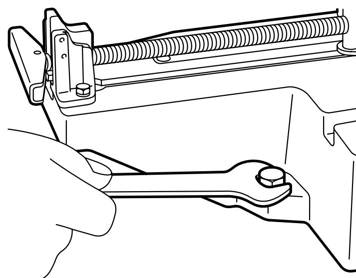
・ ソーブレードは、切断される材料の厚みに対し、2 山以上の歯がかかるものをご使用ください。
・ 上の表は目安です。切断される材料に応じて最適なソーブレードを選定してください。

・ セーフティゴーグル（保護メガネ）
部品番号：191686-2

使い方

本機の設置

・ 傾斜のない平坦な場所にベースを穴を利用して2 本のボルトで本機を固定してください。



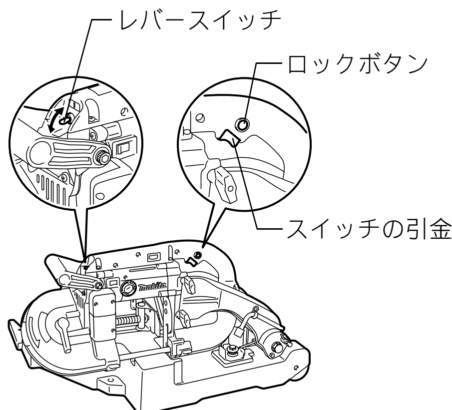
スイッチの操作

⚠警告
電源にプラグを差し込む前に、レバースイッチとスイッチの引金と両方が切れていることを必ず確認してください。 ・ スイッチを入れたままプラグを差し込むと急に動き出し、事故の原因になります。 **本機を使用しない時は、スイッチの引金を戻し、レバースイッチを「O」（OFF）側に倒してください。**

・ 本機はレバースイッチとスイッチの引金（トリガ）の両方を ON 状態にすると起動します。
・ レバースイッチが「O」（OFF）側に倒れていることを確認します。
・ スイッチの引金をいっぱいに引いてからロックボタンを押し込み、スイッチの引金を引いた状態で固定します。
・ この状態でレバースイッチを「I」（ON）側に倒すと起動し、「O」（OFF）側に倒すと停止します。

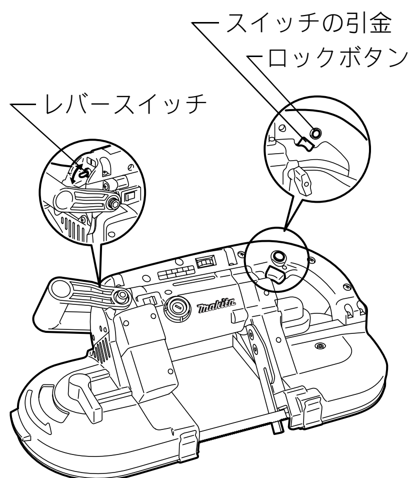
注

・ 必ずレバースイッチで本機の起動、停止を行ってください。



本体（ポータブルバンドソー）のみで使用する場合

・ レバースイッチを「I」(ON) 側に倒した状態でスイッチの引金を引くと起動し、離すと停止します。
・ 引金を引いてからロックボタンを押し込むと、引金を離しても引金が固定され連続運転します。
・ 停止させるには、もう一度引金を引いてロックボタンが戻ってから引金を離してください。



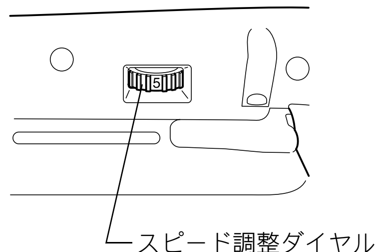
注

・ レバースイッチが「O」(OFF) 側に倒れていると、スイッチの引金を引いても運転しません。スイッチで運転操作するときは、レバースイッチが「I」(ON) 側に倒れていることを確認してください。
・ 必ずスイッチの引金で本機の起動、停止を行ってください。

使い方

スピード調整ダイヤルの操作

・ スピード調整ダイヤルを回すことにより、回転数が自由に変えられます。
・ スピード調整ダイヤルを「5」側に回すと高速回転、「1」側に回すと低速回転になります。
・ スピード調整ダイヤルの 1 ～ 5 の数値間の回転数の目安は下表のとおりです。



注

・ **スピード調整ダイヤルは 1 より下には回りません。また 5 より上にも回りません。無理に回しますと故障の原因になりますので、スピード調整ダイヤルは必ず、1 → 2 → 3 → 4 → 5 、5 → 4 → 3 → 2 → 1 の範囲で回してください。**

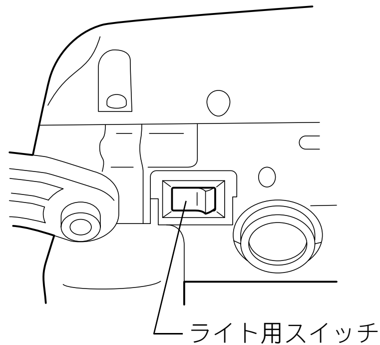
<table>
<tr><td>ダイヤル</td><td>1</td><td colspan="2">2</td><td>3</td><td colspan="2">4</td><td>5</td></tr>
<tr><td>材質</td><td colspan="2">ステンレス</td><td colspan="3">合金</td><td colspan="2">炭素鋼</td></tr>
</table>

使い方

ライトの点灯

⚠注意
ライトの光を直接のぞきこんだり、目に当てないでください。 ・ ライトの光が連続して目にあたると、目をいためる原因になります。

・ ハンドル部上部のライト用スイッチの「I」(ON) 側を押すと点灯し、「O」(OFF) 側を押すと消灯します。



注

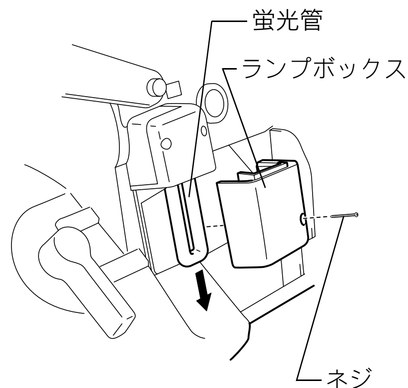
・ ライトレンズ部に付着したゴミは、柔らかい布等で拭き取り、キズが付かないように注意してください。ライトレンズ部にキズが付くと、照度低下の原因になります。
・ ライトレンズ掃除の際はガソリン、シンナーなどで拭かないでください。レンズを傷めます。
・ ライトの使用後は必ずスイッチの「O」(OFF) 側を押し、消灯してください。

蛍光管の交換

⚠警告
蛍光管の交換の際には、必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
・　プラグを電源につないだまま行うと、感電や事故の原因になります。

⚠注意
蛍光管に衝撃を与えたり、キズを付けないでください。
・　ガラスが割れてケガの原因となります。
使用直後は蛍光管が熱くなっておりますのでしばらく放置してから交換してください。
・　やけどの原因になります。

- ライトのランプボックス固定用のネジを外し、ランプボックスを取り外します。
- 蛍光管を引き抜き、指定の蛍光管に取り替えてください。



ソーブレードの取り付け・取りはずし方

⚠警告

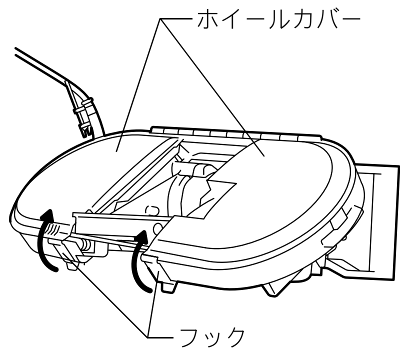
ソーブレードの取り付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。
・ プラグを電源につないだまま行うと事故の原因になります。

取り付け方

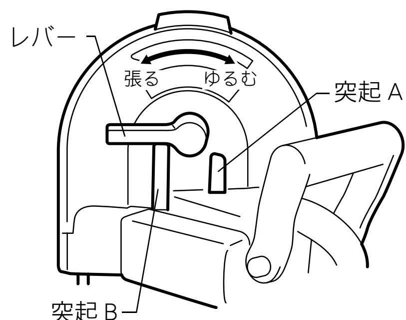
⚠注意

ソーブレードおよび取り付け面の切粉などを拭き取ってください。
・ ソーブレードがはずれたり、折れたりしてけがの原因になります。

・ ホイールカバーのフックを持ちを両側同時に開けます。

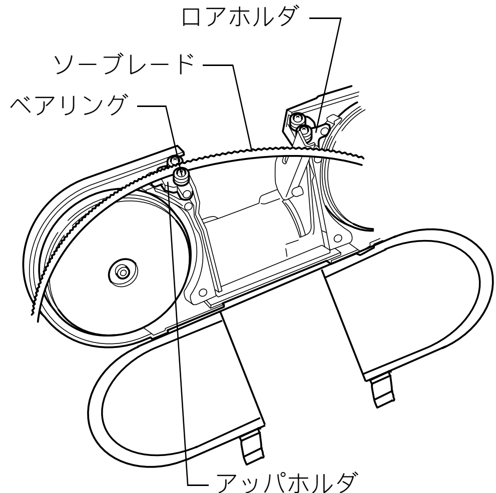


・ レバーをフロントホイールカバーの突起Aに当たるまで右に回してください。



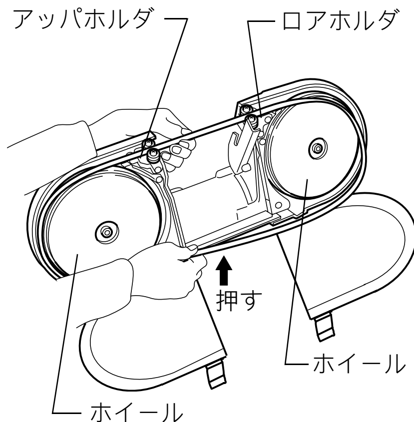
注

・ ホイールカバーは両側同時に開閉してください。片側だけ動かすとつなぎ部分がねじれて破損するおそれがあります。



・ ホイールの矢印と、ソーブレードの矢印の方向を合わせてください。

・ ソーブレードを背の方からアッパホルダ（またはロアホルダ）に入れ、押えながらもう一方のロアホルダ（またはアッパホルダ）に入れます。それぞれ奥のベアリングに当たるまで入れてください。



・ ソーブレードをホイールに掛け、ホイールの底に当たるまでソーブレードの中央を押えながら入れ、順次反対側のホイールに入れてください。
・ ソーブレードがはずれないように押えながら、レバーをフロントホイールの突起Ｂに当たるまで左に回し、ソーブレードを張ってください。
・ 電源を入れ、スイッチの入切を２～３回繰り返し、ホイール上をソーブレードが安定して走行することを確認してください。
・ ホイールカバーを閉じてください。

取りはずし方

⚠注意
ソーブレードが飛び出すことがありますので、本機を下向きにした状態で、レバーをゆっくりゆるめてください。 ・ けがの原因になります。

・ 取りはずすときは、取り付け方の逆の要領で行ってください。

各部の調整

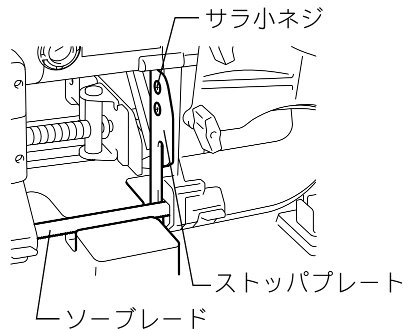
⚠警告

各部の調整の際には必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
・　プラグを電源につないだまま行うと、感電や事故の原因になります。

ソーブレードの下限位置調整

注

- **ソーブレードでベースを切断しないよう、または材料切断時に切り残りが出ないように調整してください。**
- ソーブレードの刃先が、ベース上面より約 2 mm 下がった位置で止まるように、付属の六角棒レンチを使用してサラ小ネジをゆるめ、ストッパプレート位置を調整します。
- 調整後、サラ小ネジ（2 本）を締め付けてストッパプレートを確実に固定してください。



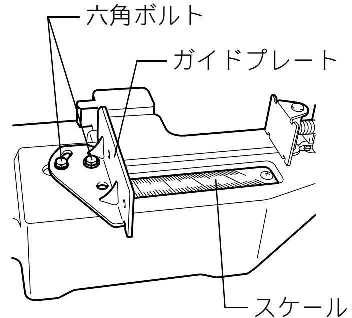
角度調整

- 直角度は出荷時に調整してありますが、万一輸送中や、ご使用中に狂いが生じたら、次の手順で調整してください。又、携帯用として使用後スタンドに取り付ける場合も、直角度の調整を行ってください。

ソーブレードの直角度調整

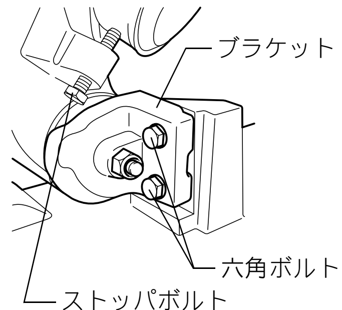
ガイドプレートとソーブレードの直角調整

付属のボックスレンチを使用して六角穴付ボルト（2 本）をゆるめ、ガイドプレート面がソーブレードと直角になるように調整します。
六角ボルトを締め付け、ガイドプレートをしっかり固定します。



ベース上面とソーブレードとの直角度調整

- 付属のボックスレンチを使用して六角ボルト（2 本）をゆるめ、三角定規でソーブレードとベース上面が直角になるように調整します。
- 六角ボルト（2 本）をしっかり締め付けてください。



ストッパボルトの固定

- ストッパボルトを確実に本機にあてて使用してください。

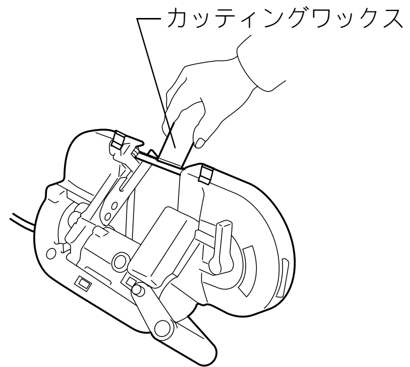
注

- **ストッパボルトを強く締めすぎると本機が変形・破損する恐れがあります。**

カッティングワックスの塗布

⚠ 注意
ソーブレードに液状の切削油をかけたり、ソーブレードの側面にカッティングワックスを多量につけないでください。 ・ ソーブレードがスリップしたり、はずれたりし、けがの原因になります。

・ カッティングワックスは金属材料を切断する場合に使用してください。
・ 切断前に本機を回転させ、カッティングワックスのキャップをはずしたのち、ストッパプレートに当てケースごと切り込んで、ソーブレードの刃先にカッティングワックスを塗布してください。



注

・ **鋳鉄を切断するときは、カッティングワックスを使用しないでください。**

ストッパピンについて

・ ストッパピンを引張りながら回転させ、向きを変えることにより次の 3 通りの固定方法がありますので作業に合わせて切り替えてください。固定を解除するときはストッパピンを引張りながら、本機を動かします。

用途	固定位置	ストッパピンの位置
通常作業時		ストッパピン
コンタ作業時		ストッパピン
運搬時		ストッパピン

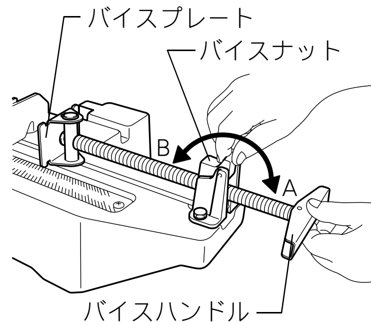
材料の固定（バイスの使い方）

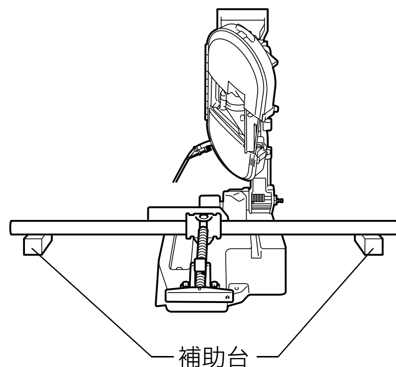
⚠警告

バイスナットを完全に右側へ倒して、材料を固定してください。

・ 材料の固定が不十分となり、切断中材料が飛ばされてソーブレードを損傷し、けがの原因となります。

・ 本機にはクイックバイスが取り付けてあります。
・ バイスハンドルを左に回すとバイスがゆるみ、バイスナットを手前（A 方向）に倒しバイスハンドルを前後に動かすとバイスが自由に移動します。
・ 材料を固定するときは、バイスハンドルを押してバイスプレートを材料に近づけ、バイスナットを前方（B 方向）に倒してバイスハンドルを右に回してください。
・ 材料が長い場合は、必ず端部を補助台にのせベース上面と高さを調整し安定させてください。

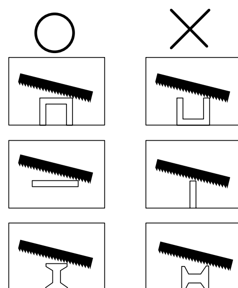




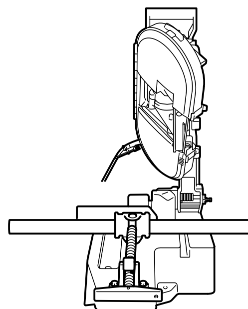
作業方法

⚠注意

切断中に本機を押えすぎたり、ソーブレードをこじったりしないでください。
・ 切断面が傾斜したり、ソーブレードの歯欠け、折損を生じ、けがの原因になります。



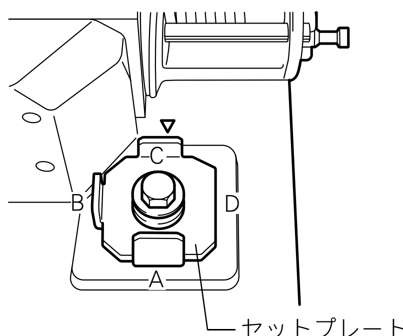
・ 材料に対して２山以上の歯がかかるような方向を選定してください。
・ 材料をベースの上にのせ、材料を確実に固定してください。
・ ポータブルバンドソーのハンドルをしっかり保持して、ストッパピンを引っ張りロックを解除してください。
・ スイッチを入れ、回転が安定したらソーブレードに衝撃がかからないようゆっくりと、材料に近づけ切り込んでください。切断は、本機の自重か、軽く押しつける程度で行ってください。



切断荷重の調整方法

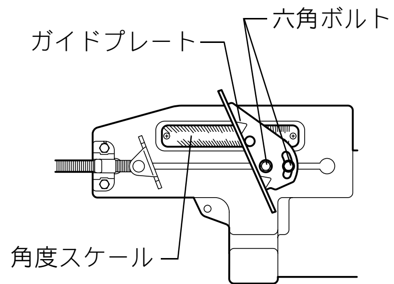
・ 切断荷重はセットプレートの位置を変えることにより4段階に設定できます。
・ セットプレートの A,B,C,D を▼印に合わせます。
・ A→B→C→D の順に切り替えるにつれて切断荷重は大きくなり、切断するスピードは早くなります。

切断する材料がステンレス管など比較的切断しにくい場合には設定Dにするなど材料に合わせて最適な設定にしてください。



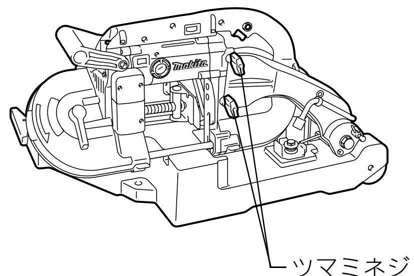
角度切りについて

・ 本機は、ガイドプレートの角度調整を行うと、直角～ 45 度までの角度切りができます。
・ バイスを固定している六角ボルト（2 本）を付属のボックスレンチ 13 でゆるめます。
・ バイスを移動し、バイス面を任意の角度スケール目盛に合わせます。
・ 角度調整後、六角ボルト（2 本）を締め付け、バイスを固定します。

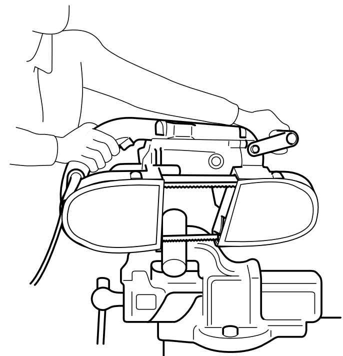


携帯用として使用する場合

・ ツマミネジをゆるめ、本体をバイススタンドから取りはずします。



・ 材料に対して2 山以上の歯がかかるような方向を選定してください。
・ ソーブレードが材料に当たらない位置で、ストッパプレートを材料に当て、スイッチを入れてください。
・ 回転が安定したらソーブレードに衝撃がかからないようソーブレードをゆっくりと、材料に近づけ切り込んでください。切断は、本機の自重か、軽く押し付ける程度で行ってください。
・ 切り終えるときは、本機を持ち上げ気味にゆっくり切り終えてください。



コンタ作業について

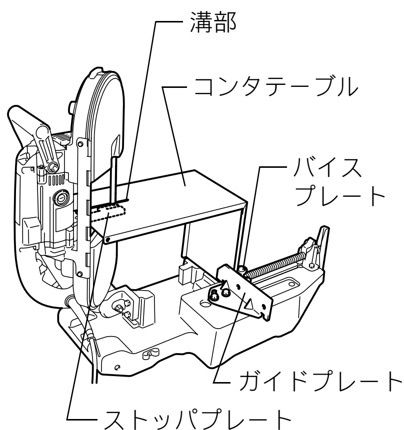
⚠警告
付属のコンタテーブルの取り付けの際には必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。 ・　プラグを電源につないだまま行うと、感電や事故の原因になります。 **ホイールカバーは必ずしっかり取り付けて使用してください。** ・　ソーブレードがはずれたり、破損したときに、けがの原因になります。 **使用中は回転しているソーブレードに手や顔などを近づけないでください。** ・　けがの原因になります。

⚠注意
本機使用中は、手袋の着用は避けてください。 ・　手袋をして作業をしますと、ソーブレードに巻き込まれるおそれがあります。 **切り落とした材料・切りくずは高温になりますので、素手で触らないでください。** **切断中、早く切断しようとして、ソーブレードの材料をおしつけないでください。** ・　切断精度が悪くなるばかりでなく、モーターがロックし、ソーブレード破損の原因になります。 **切断中、ソーブレードがロックした場合は、直ちにスイッチを切って、運転を中止してください。** ・　ソーブレード破損の原因になります。

・　本機は、本体を立てて上限位置に固定し、コンタテーブルを取り付けますとコンタ作業ができます。
・　コンタ作業の前に以下の手順で付属品を取り付けてください。

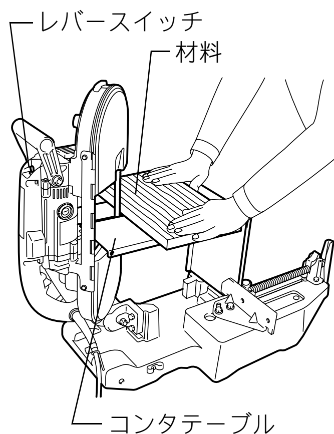
コンタテーブルの取り付け

(1) 本体を上限位置まで持ち上げ、ヒンジ部のストッパピンで本体を固定します。
(2) コンタテーブルをストッパプレートの上に乗せながら溝部をソーブレードに合わせます。
(3) コンタテーブルをバイスプレートではさみ固定します。



コンタ作業

(4) スイッチをロックさせます。
(5) レバースイッチを入れます。
(6) 材料を両手で固定し、コンタテーブル上を滑らせながら、材料をソーブレードにゆっくり近づけ切り込みます。
(7) 材料をソーブレードに押しつける荷重はソーブレードが曲がらない程度に押し付け、無理に荷重を加えないようにします。
(8) 材料が切り終わりましたら、レバースイッチを切ってください。



使い方

ポータブルバンドソーと平バイス式スタンドの取り付け・取りはずし方

⚠警告

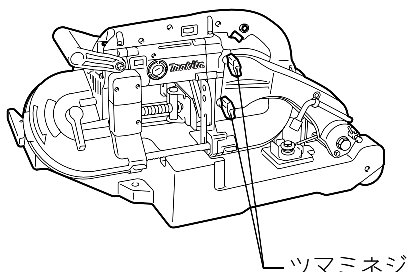
ポータブルバンドソーと平バイス式スタンドの取り付けの際には必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

・ プラグを電源につないだまま行うと、感電や事故の原因になります。

・ 本機は平バイス式スタンドを取りはずせば携帯型として使用できます。

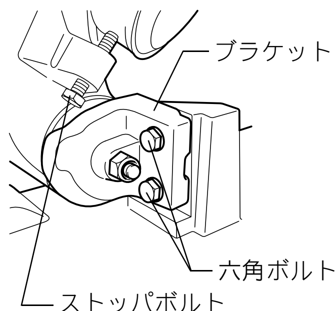
取りはずし方

・ 本体を下限位置まで下降させます。
・ ツマミネジ（2 本）を緩めて取りはずします。



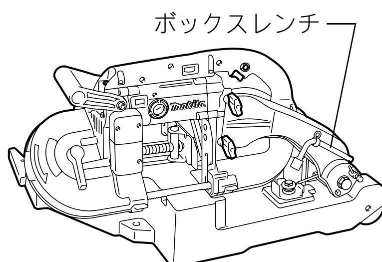
取り付け方

・ ポータブルバンドソーと平バイス式スタンドの取り付け方は、ポータブルバンドソーと平バイス式スタンドの取りはずし方と逆の要領で行ってください。
・ 取り付けの際は、バイススタンドのストッパボルトが本体に当たるように調整してください。
・ ソーブレードの直角度調整を行ってください。



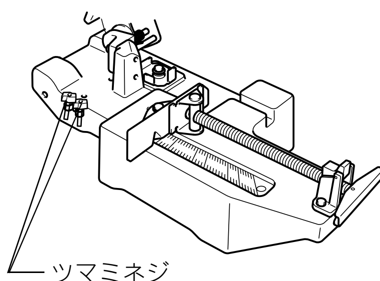
ボックスレンチ 13 の収納

・ ボックスレンチ 13 は図のように収納します。



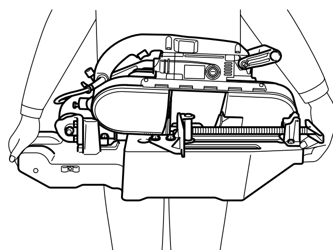
ツマミネジ M8 の収納

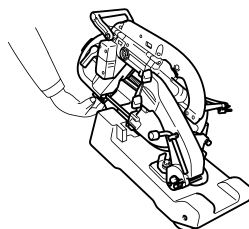
・ ポータブルバンドソーを取りはずした場合は図のようにツマミネジを収納してください。



運搬

・ 運搬・移動する場合は、本体を下限位置まで下降させます。
・ 本体が上昇しないようにストッパピンで固定します。
・ ベースの両端を持ち､運搬･移動します。
・ 車輪を利用して移動する場合は、図のようにベース先端部を持ち、本体を傾斜させて移動します。





保守・点検について

⚠警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

・　プラグを電源につないだまま行うと、感電や事故の原因になります。

⚠注意

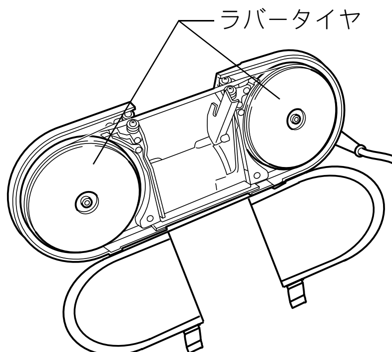
ラバータイヤについたワックスや切り屑等は、乾いた布等でよく拭き取ってください。

・　ソーブレードがスリップしたり、はずれたりし、けがの原因になります。

・　ラバータイヤは、定期的に点検してください。
・　ワックスや切りくずの除去等清掃してください。

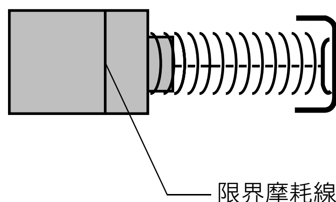
ラバータイヤの交換

・　ラバータイヤが摩耗し、ソーブレードがスリップしやすくなったり、はずれやすくなった場合や、モータ側のラバータイヤのリップ部分が破損した場合は、ラバータイヤの交換が必要です。
・　ラバータイヤの交換は、お買い上げの販売店または当社営業所にお申しつけください。

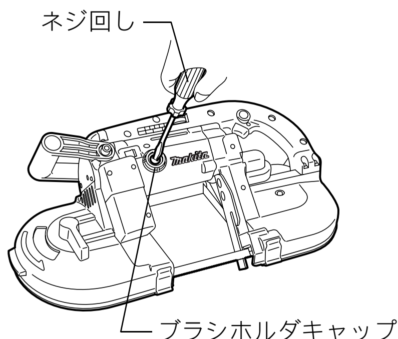


保守・点検について

カーボンブラシの交換



- カーボンブラシは定期的に取りはずして点検してください。カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。
- ネジ回しでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
- 中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。カーボンブラシは2 個で1 組になっております。取り替えるときは、必ず両側とも同時に行ってください。



ご修理の際は

- 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店または当社営業所にお申しつけください。

メモ

882206B0

NNP

株式会社 マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 （代表）